

宮城を、
あなたの
舞台に



宮城県職員募集
2026

機械

業務紹介

◆ 概要

県有施設の機械設備工事の発注・監督業務
ダム・浄水場などの操作・保守点検、維持管理業務

◆ 勤務先

本庁各課（設備課、管財課、河川課など）
地方機関（ダム事務所、広域水道事務所、下水道事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : R3.3 県内高等学校卒業
R3.4 民間企業へ就職
R6.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁3年目）

R6.4～ **土木部 設備課 機械設備班**

県有施設に関する機械設備工事の発注・監督など

志望動機

◆ なぜ公務員？

「地域に貢献したい」と考えた時に、自分自身の個性を活かせる技術職を選びました

◆ なぜ宮城県庁？

県全体の防災やインフラ整備など、幅広い分野で県民の生活を支えられる点に魅力を感じました。

現在の担当業務の紹介（設備課）

県有施設の新築・改修

学校や警察署等の空調設備や給排水衛生設備等の設計や工事監督を行っています。

警察署
給水設備工事 受水槽



宿舎
新築工事 機械設備



高等学校
空調設備工事 エアコン屋外機



入庁前のイメージとのギャップ°

◆ 入庁前のイメージ

技術職は現場作業や専門業務が多そう

残業少なそう、楽しそう

◆ 入庁してみたら・・・

技術職でも事務作業や書類作成の機会が多い

配属される部署によって業務量に差がある

仕事をする上で心がけていること

- ◆ 公共工事・業務に関するルールを把握しておくこと。

公務で行うもののほぼ全てにルールが定められています。

これを適切に把握することでスムーズに仕事が行えます。

- ◆ 仕事での悩みや疑問を抱え込まず、同僚や上司に相談したり、情報共有をこまめに行うこと。

抱え込んでしまった方が後々大変。

仕事は個人ではなく、チームプレーという環境が整っています。

印象に残っている業務

県有施設の設備改修工事で、施設を利用しながら工事を進めるため、利用者への配慮や工事業者との調整、工程管理など、多くの関係者と連携する必要があり、技術的な知識だけではなく、調整力やコミュニケーション能力が重要であることを実感しました。

仕事のやりがい

まったく何もない場所に機械や電気設備が設置され、配管や配線が張り巡らされて一つの施設へと組み上がっていく様子を見て、「自分は今、県職員として大きな事業に携わっているんだ」という実感が強く湧きました。その施設が完成し、実際に地域で稼働し始めた瞬間を目にした時の「一つの事業をやりきった」という達成感は、今でも自分の大きな原動力になっています。

職場の雰囲気

職場は上司・先輩も含めて
相談しやすい雰囲気があり、
業務を進める上でも助かっています。



近年、「オフィス改革」が
行われており、綺麗で
働きやすいように環境整備が
進められています。



宮城県職員の魅力

建物の改修から上下水道、ダムなど幅広い分野の
インフラ施設の維持管理に携わることができる。

休暇があり、スケジュールが安定しているため
プライベートの時間が確保しやすい。

（育児休暇なども取りやすい雰囲気があるため、
仕事との両立や職場復帰がしやすい環境）

私の公務員試験対策

書店で発売されている対策本のようなものを解いていました。また、県ホームページに公開されている過去の例題には目を通していました。
（面接対策は民間企業の採用試験で実践を重ねるようにしました。）

宮城県職員採用試験の例題・過去の出題課題



先輩職員からのメッセージ

機械職などの技術職は県民の皆様の安心・安全な生活を陰ながら支える“縁の下の力持ち”のような存在です。
「公務員」を、「県職員」を選んでもらえることを期待しています！！

一緒に働けることを楽しみにお待ちしております！！